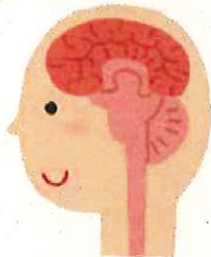


認知症とは



脳は、人間の活動をコントロールしている司令塔です。認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が少なくなることで脳の司令塔の働きに不都合が生じ、さまざまな障がいが起こり、生活する上での支障がおよそ6か月以上継続している状態をいいます。

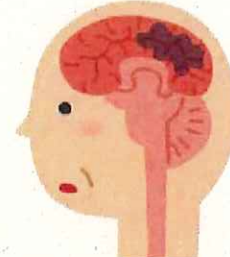
認知症の原因



健康な脳



脳の細胞が少しずつ少なくなっていくと脳が萎縮する。(アルツハイマー病などの変性疾患)



血管が詰まりその部分の細胞が少なくなっていく。(脳血管性認知症)

認知症を引き起こす主な病気は、以下のとおりです。

アルツハイマー型認知症

- ・ 脳の細胞が徐々に少なくなり、脳の萎縮が見られる
- ・ 認知症の原因の約半数を占める

【症状】

- ・ 記憶障害
- ・ 見当識障害（時間や場所、季節等が分かりにくくなる症状）がある

脳血管性認知症

- ・ 脳梗塞や脳出血が原因で、神経細胞に栄養や酸素が行き渡らず、脳の細胞が少なくなる

【症状】

- ・ 意欲低下
- ・ 複雑な作業ができなくなる
- ・ 感情不安定（急に泣く、怒るなど）

レビー小体型認知症

パーキンソン症状や幻視（実際にはないものが見えるなど）を伴い、症状の変動が大きいことが特徴。



前頭側頭型認知症

司令塔役の前頭前野を中心に傷害されるため、がまんしたり思いやりなどの社会性を失い、「わが道を行く」行動をとる特徴がある。

その他… 正常圧水頭症、脳腫瘍、頭部外傷、甲状腺機能低下、アルコールの長期多飲など。高齢者では、認知症の原因が複数重なることもある。